

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

会計学専攻

I 次のすべての設問に答えなさい。

(1) 減価償却の自己金融効果（作用）について、下記の＜設例＞を用いて説明しなさい。

＜設例＞

- ・20×1年4月1日に営業用の車両を5,000,000円で現金購入し、使用を開始した。
- ・減価償却方法は定額法、記帳方法は間接控除法を採用する。
- ・残存価額は零、耐用年数は5年とする。

(2) 減価償却における生産高比例法について、これを肯定する見解と否定する見解をそれぞれ述べなさい。

裏面使用不可

採 点	
--------	--

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

会計学専攻

2-2

Ⅱ 以下の設問にすべて答えなさい。

1. 企業会計原則注解【注18】に基づき、引当金の設定要件を4つ挙げなさい。

2. 企業会計基準第18号に基づき、資産除去債務の定義を述べなさい。

3. 企業会計基準第18号に基づき、資産除去債務の算定について説明しなさい。

ただし、次の3つの用語を使用すること。

<用語> 除去 将来キャッシュ・フロー 無リスク

採 点	
--------	--

令和6年10月5日(土)実施

科目名
財務会計

受験番号	氏名

2-1

会計学専攻

I 次のすべての設問に解答しなさい。

- (1) 商品売買取引の会計処理方法である三分法と理論的に最も整合する商品の数量の記録方法は何であるか。そして、三分法と理論的に最も整合する平均原価法の種類は何であるか。それぞれの答えを論拠とともに述べなさい。
- (2) 商品売買取引の会計処理方法である、商品の販売時に商品の払出価額を商品勘定から売上原価勘定へ振替える方法と理論的に最も整合する商品の数量の記録方法は何であるか。そして、そのような会計処理方法と理論的に最も整合する平均原価法の種類は何であるか。それぞれの答えを論拠とともに述べなさい。
- (3) 連結会計において、子会社が親会社に対して剰余金の配当を支払った場合の会計処理、および関連会社が関連会社株式を保有する投資会社に対して剰余金の配当を支払った場合の会計処理を、それぞれ具体的に説明しなさい。
- (4) 連結会計において、子会社が非支配株主に対して剰余金の配当を支払った場合の会計処理を、具体的に説明しなさい。

裏面使用不可

採点	
----	--

科目名
財務会計

受験番号	氏名

2-2

会計学専攻

問題Ⅱ 現在の会計基準において、リース取引はどのように分類されるか、分類の考え方や具体的な判断基準に触れながら、説明しなさい。

採点	
----	--

令和6年2月17日(土)実施

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

2-1

会計学専攻

I 次のすべての設問に答えなさい。

- (1) 企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」(2020年改正)では、用語として契約資産が定義されている。契約資産について具体的に説明しなさい。

- (2) 「収益認識に関する会計基準」(2020年改正)に従って、次のケースの仕訳を示すとともに、その背後にある考え方を「履行義務」と「取引価格」という用語を使って説明しなさい。

裏面使用不可

採 点	
--------	--

令和6年2月17日(土)実施

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

会計学専攻

2-2

問題Ⅱ 次のすべての設問に解答しなさい。

1. 企業会計基準第8号「ストック・オプションに関する会計基準」第4項には、「ストック・オプションを付与し、これに応じて企業が従業員等から取得するサービスは、その取得に応じて費用として計上(1)し、対応する金額を、ストック・オプションの権利の行使又は執行が確定するまでの間、貸借対照表の純資産の部に新株予約権として計上する。(2)」とある。

(1) 下線部に関連して、認識された金額は(借方科目)新株報酬費用として費用計上する。費用として計上する根拠を説明しなさい。

(2) 下線部に関連して、認識された金額は(貸方科目)新株予約権として、以前は仮勘定として負債の部に計上されていた。(2)のように変更された理由を簡潔に説明しなさい。

2. 企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づいて解答しなさい。

(1) デリバティブ取引とはどのような取引をいうか。

<例>にならって2つ答えなさい。 <例>先物取引

(2) デリバティブ取引による債権・債務は時価で評価される。

その理由について答えなさい。

採 点	
--------	--

令和5年9月30日（土）実施

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

2-1

会計学専攻

Ⅰ 次のすべての設問に解答しなさい。

- （１） 商品等の販売によって生ずる営業債権（売上債権）である資産の科目を、必ず、三つ答え、それぞれについて債権の回収期日（支払期日）より早期に資金を回収する（換金する）仕組みを説明しなさい。
- （２） （１）で答えた三つの科目のそれぞれについて、満期日以前の早期の換金の際に発生する費用の科目を答えなさい。
- （３） 営業債権のうちでもクレジット売掛金だけは、貸倒引当金の設定は不要であるという考え方があるが、その理由について述べなさい。
- （４） 有形固定資産の一種である取替資産とは、どのような資産であるかを、必ず具体例を挙げて説明しなさい。そして取替資産に適用可能である取替法とは、どのような会計処理方法であるかを、答えなさい。
- （５） 取替法において老朽品を新品に部分的に取替えるための支出の会計処理は、有形固定資産の取得後における、改良のための支出と修繕のための支出の、どちらの支出の会計処理と類似しているかについて、類似している理由を含めて答えなさい。

採 点	
--------	--

令和6年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅰ期入学試験 (一般・社会人・留学生)

令和5年9月30日(土)実施

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

会計学専攻

2-2

Ⅱ 固定資産の減損処理手続きにおける、のれんの取り扱いについて説明しなさい。

裏面使用不可

採 点	
--------	--

令和5年2月18日(土)実施

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

2-1

会計学専攻

I 次の問いに答えなさい。

企業会計原則における資本と利益の区別の原則(剰余金区別の原則)の意義について述べるとともに、会社法の分配規制との異同点について説明しなさい。

裏面使用不可

採 点	
--------	--

令和5年2月18日(土)実施

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

2-2

会計学専攻

Ⅱ 次のすべての設問に解答しなさい。

- (1) 負債の勘定である「所得税預り金 a/c」と「未払消費税 a/c」とは、租税に関する負債として同質性・共通性があると考えられる。このような同質性・共通性について、必ず「納税者(納税義務者)」と「担税者」という用語を使って論じなさい。
- (2) 「所得税預り金 a/c」および「未払消費税 a/c」と、「未払法人税等 a/c」とを比較すると、租税に関する負債として異質であると考えられる。そのような異質性について、必ず「企業にとっての費用」という用語を使って論じなさい。
- (3) 繰延資産である株式交付費の内容として、新株発行費以外の項目は何であるか、を答えなさい。
- (4) 社債発行費と同様の取り扱いを受ける類似の繰延資産は何であるか、を答えなさい。
- (5) 繰延資産と長期前払費用の相違点を説明しなさい。

裏面使用不可

採 点	
--------	--

令和4年10月1日(土)実施

科 目 名
財 務 会 計

受 験 番 号	氏 名

会計学専攻

2-1

Ⅰ 次のすべての設問に解答しなさい。

- (1) 利益測定に関する資産負債観（あるいは資産負債アプローチ）と収益費用観（あるいは収益費用アプローチ）を説明しなさい。

- (2) 企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」における「収益の認識基準」について説明しなさい。

裏面使用不可

採 点	
-----	--

令和4年10月1日（土）実施

科 目 名
財 務 会 計

受験番号	氏 名

会計学専攻

2-2

Ⅱ 以下の設問にすべて答えなさい。

1. (1) 偶発債務について説明しなさい。
 (2) 「企業会計原則」および「企業会計原則注解」では、偶発債務をどのように取り扱うよう規定されているか、引当金との比較を踏まえて説明しなさい。

2. (1) 企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づき、その他有価証券について説明しなさい。
 (2) 企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づき、その他有価証券の期末会計処理（貸借対照表価額及び評価差額等）について、売買目的有価証券との比較を踏まえて説明しなさい。

裏面使用不可

採点	
----	--

令和 5 年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人・留学生)

令和 5 年 2 月 18 日 (土) 実施

科 目 名
管 理 会 計

受 験 番 号	氏 名

会計学専攻

志願者がいなかった受験科目の過去問題は、公表していません。

採 点	
--------	--

科 目 名
管 理 会 計

受 験 番 号	氏 名

I

問1 バランス・スコアカード(Balanced Scorecard: BSC)に関わる用語として、戦略マップとスコアカードについて説明しなさい。

問2 BSCの4つの視点とは何か、またBSCでいうバランスとは何かを明らかにしなさい。

問3 戦略的実施項目(strategic initiatives)を具体的に説明しなさい。

科目名
会計学B
*会計学A・会計学Bどちらかを選択して解答すること

受験番号	氏名

2-1

会計学専攻

I 特殊原価調査 (意思決定会計) に関する以下の問いに答えなさい。

問1 特殊原価調査における3つの原価概念 (差額原価, 埋没原価, 機会原価) について, その特徴や考え方を説明しなさい。

問2 A, B, Cの3つのオプション (代替案) があり, それぞれの差額原価と差額収益は次の通りである。オプションAは長年付き合ひのある会社の依頼なので採用せざるをえないが, あなたは「機会原価を考慮した差額利益」によりオプションAを選ぶのは得策ではないことを訴えることにした。はたして, オプションAを選んだ場合の機会原価を考慮した差額利益はいくらだろうか。

- A 差額収益 450万円, 差額原価 400万円
- B 差額収益 350万円, 差額原価 250万円
- C 差額収益 250万円, 差額原価 50万円

Aを選んだ場合の差額利益:

(万円)

問3 業務的意思決定と戦略的意思決定(*注)の異同を次のキーワードを使って説明しなさい。

(差額原価収益分析, リスク, 資本コスト, 期間損益, キャッシュフロー)

(*注)戦略的意思決定は, 構造的意意思決定や投資的意思決定と同義とする。

採点	
----	--

令和4年 2月19日(土) 実施

科 目 名
会 計 学 B
*会計学A・会計学Bどちらかを選択して解答すること

受験番号	氏 名

会計学専攻

2-2

Ⅱ 以下の2つの設問に答えなさい。

設問1

オペレーティング・レバレッジについて、以下の4つのキーワードを用いて論じなさい。

「労働集約型」、「資本集約型」、「損益分岐点」、「安全余裕率」

設問2

R. S. Kaplan らによって、管理会計の有用性喪失 (Johnson, T. H., and Kaplan, R. S. 1987. *Relevance Lost: The Rise and Fall of Management Accounting*. Harvard Business Press. (邦訳書, 鳥居宏史訳『管理会計の盛衰』白桃書房, 2002年) が指摘されて以降の管理会計実務 (特に業績評価システム) の主要な展開について論じなさい。

裏面使用不可

採 点	
--------	--

令和3年10月2日(土)実施

科 目 名
会 計 学 B
*会計学A・会計学Bどちらかを選択して解答すること

受験番号	氏 名

会計学専攻

3-2

Ⅱ

問1. 「意思決定会計」、「業績評価会計」、「マネジメント・コントロール」、「コスト・マネジメント」、「レバンス・ロスト」の5つのキーワードを少なくとも一回は用いて、管理会計の体系化について論じなさい。

問2. 本来、コスト・センターとして考えられる部門を擬似的にプロフィット・センターとして運営する管理上の意図はどこにあるのか説明しなさい。

問3. アメーバ経営における管理会計システムについて説明しなさい。

裏面使用不可

採 点	
--------	--

令和3年2月20日(土)実施

科 目 名
会 計 学 B
*会計学A・会計学Bどちらかを選択して解答すること

受 験 番 号	氏 名

会計学専攻

20頁

問題Ⅰ CVP分析に関する以下の問いに答えなさい。

問1 CVP分析の役割について説明するとともに、その分析方法について具体的に説明しなさい。

問2 CVP分析にはいくつかの仮定が置かれている。それらについて簡単に説明しなさい。

裏面使用不可

採 点	
--------	--

令和3年2月20日(土)実施

科 目 名
会 計 学 B
*会計学A・会計学Bどちらかを選択して解答すること

受験番号	氏 名

会計学専攻

2-2

問題Ⅱ ABC (Activity-Based Costing ; 活動基準原価計算) に関して、以下の設問に答えなさい。

問1 ABC の課題を理論と実務の両方の観点から述べなさい。

問2 ABC の改良版として発表された TDABC (Time-Driven ABC) の特徴を述べなさい。

問3 ABC では原価の精緻化や低減には限界がある。その他の経営管理上の効果として何があるか、ABM (Activity-Based Management) の観点から述べなさい。

裏面使用不可

採点	
----	--

令和 2 年 10 月 3 日 (土) 実施

科目名
会計学B

受験番号	氏名

会计学専攻

21

I 「原価計算基準」を念頭に置いて、次の2つの設問に答えなさい。

設問１ 「原価計算基準」では「製造原価は、原則として、その実際発生額を、まず費目別に計算し、次いで原価部門別に計算し、最後に製品別に集計する」(七 実際原価の計算手続)とされているが、このうち、費目別の計算の計算手順、機能について説明しなさい。

[illegible]

設問２ 「原価計算基準」では「原価差異が生ずる場合には、その大きさを算定記録し、これを分析する。その目的は、原価差異を財務会計上適正に処理して製品原価および損益を確定するとともに、その分析結果を各階層の経営管理者に提供することによって、原価の管理に資することにある」(四四 原価差異の算定および分析)とされているが、これについてより詳しく平易に説明しなさい。

[illegible]

出典：大蔵省企業会計審議会中間報告(昭和37年11月8日)

裏面使用不可

探 源	
--------	--

令和2年10月3日(土)実施

科目名
会計学B
*会計学A・会計学Bどちらかを選択して解答すること

受験番号	氏名

会計学専攻

2-2

II 原価企画に関する以下の問いに答えなさい。

問1 原価企画の発展の背景として、原価管理の手段としての標準原価計算の有効性が低下したことが指摘されている。なぜ、標準原価計算の有効性が低下したのか論じなさい。

問2 原価企画はどのような産業においてより効果的か答えなさい。また、なぜそのような産業に適しているか説明しなさい。

問3 バリュー・エンジニアリング (VE) について、「価値」という用語を使って簡潔に説明しなさい。また、ゼロ・ルック VE、ファースト・ルック VE、セカンド・ルック VE とはそれぞれどのようなものか述べなさい。

裏面使用不可

採点	
----	--